



期待を超えて、未来へ。

Beyond OSP



未来につなげる
パッケージ
SUSTAINABLE PACKAGE



製品サイトはこちら!

それ、“紙製包装資材”で解決。

ペーパック®



Point 01 ヒートシール性により
熱圧着で密封可能



Point 02 耐水性と耐油性で
様々な用途に活用可能



Point 03 プラスチック削減で
環境負荷低減に貢献



OSP 大阪シーリング印刷株式会社



公式サイトへ

シール・パッケージについてのご相談、お見積りは大阪シーリング印刷の公式ホームページよりお問い合わせください。

プリオ「大阪の印刷」2026 3月号

2026年(令和8年)3月1日発行
第72巻 第3号 通巻第810号

発行所/大阪府印刷工業組合
大阪市都島区中野町4-4-2

発行人/高本隆彦

電話06-6333-3030(代)

定価330円(税込)

PRINTING OF OSAKA

PRIO

プリオ

2026
3
No.810

森と紙の循環プロジェクト

淡路島レポート 後編



紙づくりの循環が
知識から実感へと変わる

発行元 (編集部)



大阪府印刷工業組合

〒534-0027
大阪市都島区中野町4-4-2

守 守 在 由

文字とつながる。
世界がひろがる。



Morisawa Fonts

デスクトップフォント

8書体まで利用可能 **Select8** 24書体まで利用可能 **Select24** 上限なく書体を選択可能 **スタンダードプラン**

Webフォント

サイト規模やプロジェクト数などに合わせて選べるプラン
Webフォント / Webフォント Lite / Webフォント Pro



morisawafonts.com

仲間がいるから、踏み出せる

春は、新しい動きが静かに芽吹く季節です。年度の切り替わりを前に、私たち印刷業界もまた、これからの在り方を改めて考える時期を迎えています。

昨年開催された「PRINT LOVERS OSAKA 2025」では、多くの方にご来場いただき、印刷の仕事や工程そのものに関心を寄せていただく機会となりました。刷り取りや色校正など、私たちにとっては日常である作業に足を止め、驚きや感動の声が聞こえてきたことは、「印刷の価値は、まだ十分に伝え切れていないだけなのかもしれない」と感じさせてくれる出来事でした。

印刷を取り巻く環境は厳しさを増していますが、その一方で、「何をつくるか」だけでなく、「どう向き合い、どう表現するか」が問われる時代に入っているように思います。価格や条件といった比較の中で選ばれるだけでなく、自社ならではの強みや考え方、姿勢に共感してもらい、「一緒に仕事がしたい」と思われる存在であることが、これからの価値につながっていくのではないのでしょうか。

組合活動もまた、その延長線上にあります。一人ではできないことも、仲間が集まれば形になる。意見の違いがあるからこそ、新しい視点が生まれ、次の挑戦へのヒントが見えてくる。組合での出会いは、良き相談相手を得ることや今後の運命を変えることもあります。昨年、さまざまな声が交わされたことは、組合が確実に動き始めている証だと感じています。

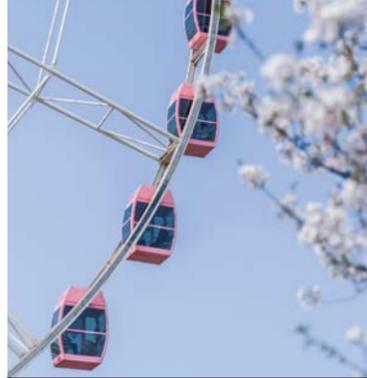
正解は一つではありません。それぞれの良さを認め合い、自分たちらしい道を選び、磨いていく。その積み重ねが、印刷の未来を形づくっていくのだと思います。

この春もまた、皆さまとともに、次の一步を丁寧に踏み出していきたいと願っています。



大阪府印刷工業組合 副理事長(組織交流担当)
株ユニオン紙器 代表取締役社長

若林 大我 WAKABAYASHI TAIGA



教えて！ 赤メガネ先生

白石封筒工業(株) 代表取締役
大阪府印刷工業組合
サステナビリティ委員長

白石 陽一
Shiraishi Youichi

「21世紀のいい会社」って
どんな会社ですか？



イシューキュレーター
特定非営利活動法人
チュラキューブ 代表理事
大阪国際工科専門職大学
工科学部 准教授

中川 悠
Nakagawa Haruka

Vol.21 森と紙の循環プロジェクト 淡路島レポート 後編

工房を抜け出し、静けさが満ちる冬の山へ。 紙の原料 楮を、この手で刈り取る！

紙漉き職人
奥田 好治さん



森と紙の循環プロジェクト 淡路島レポート前編(前月号)では、手漉き和紙工房「松鹿」さんと、蒸した楮の皮を剥き、紙づくりの入口を体験しました。指先でその手応えを知った白石くんと赤メガネ先生が、次に確かめたくなったのは「この楮は、どのように育っているのか」ということ。そこで、紙の貴重な原料である楮を求めて、山に向かいました。果たしてふたりは楮と出会い、実際に刈り取ることはできたのでしょうか。後編では、その様子を山の息づかいとともにお届けします。

紙の貴重な原料である楮を求めて 洲本市の先山の麓へ

松鹿の紙漉き職人・奥田好治さんが紙の原料として使っている楮は、畑で栽培したものではなく、工房から車で約20分の場所にある洲本市の先山の麓に自生しているものです。この山は淡路島の中央に位置し、「淡路富士」の愛称で親しまれています。美しい円錐形の山容をもち、国生み神話で最初に生まれた山という伝説も

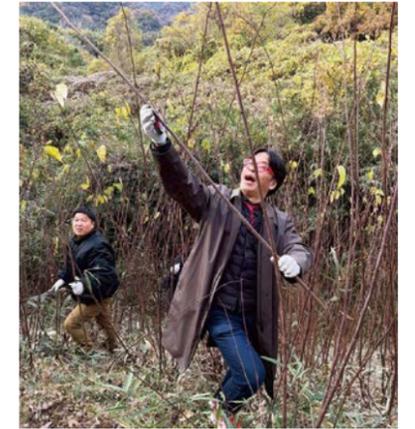
残るなど、神話の息づく歴史を背景に、古くから信仰の対象とされてきました。山頂近くには、島内随一の名刹として知られる先山千光寺があり、境内からは島内や海を一望できる絶景が広がります。私たちが向かった楮の「刈り取り」の現場は、そうした雄大な眺めと、神秘的な伝説が幾重にも重なる場所にありました。



日ごとに移ろう自然の表情が 紙づくりの営みに息づいている

山へ足を踏み入れた瞬間、空気の質がふっと変わります。工房に満ちていた湯気のぬくもりから一転し、冬の山ならではのきりりと澄んだ冷たさへ。ここ先山の麓には、洲本で紙の産業が盛んだった頃に植えられた楮が残り、いまま自生しています。紙づくりの歴史が、この山に生きたまま息づいているのです。「冬場でも、ほかほかし

た日があるんですよ」と話す奥田さんの何気ないひと言が、山に立った瞬間、実感に変わりました。風が強ければ枝はしなり、湿り気があれば刈る動きが乱れる。天候や空気のわずかな違いが、作業の難しさを左右します。紙づくりは道具の中だけで完結しない。山のコンディションを読み、手を合わせながら進める営みなのでしょう。



紙づくりの循環が 知識から実感へと変わるひととき

楮の刈り取りは、単に枝を切る作業ではありません。どの長さで切るのか、どう束ねるのか、ひとつひとつに細やかな判断が求められます。そうした背景を実体験した赤メガネ先生の生徒である大阪国際工科専門職大学の学生の一人は、「楮の刈り取りから、蒸して皮を剥ぎ、紙になるまでにこれほど多くの工程があるなんて！初めて知

ることがいっぱい、驚いた」と話します。別の学生は「デジタル中心の学習が多いなかで、自然に触れる体験がとても新鮮で貴重でした」と語ってくれました。2人が語る言葉はそれぞれ違っても、共通していたのは、紙づくりの循環が知識から実感へと変わった、確かな手応えだったようです。



紙づくりの現場に触れて 印刷の仕事への理解!?がひとつ深まった

印刷の現場では日々あたりまえのように紙を扱っていますが、その紙がどこから来たのかを、ここまで丁寧に印刷に関係する人がたどる機会はありません。今回の体験を通して、紙は単なる「素材」ではなく、大きな「循環」の中に息づく存在として立ち現れました。山とつながった瞬間、それまで見えていなかった背景が一気に輪郭

を帯びる。その入口に立った確かな手応えを、白石くんと赤メガネ先生は胸に刻んだのではないのでしょうか。工房に立ちのぼる湯気の向こうには山があり、山で刈り取られた楮は工房での仕事へと受け継がれていく。松鹿さんのその一連の営みを、静かに、しかし力強く支えているのが、淡路島という土地そのものなのです。



山に入り、楮を刈り、束ね、運ぶ。そのひとつひとつを体験して、紙が「材料」ではなく「手間と時間の結晶」だと実感しました。山の冷たさや足場、束の重みまで含めて、紙づくりの背景がはつきり見えたことで、これから紙に触れるたび、あの山の気配がふっと立ち上がってくる気がします。



楮の刈り取りは「紙の循環」を土地ごと理解する体験でした。紙は工房だけで生まれるのではなく、森や水、季節、地域の営みが重なって品格が形づくられる。上流を知るほど、紙の価値は深く語れる。今回の体験は、紙を見る目を確実に変えてくれました。





ペーパーサミット2026

実行委員インタビュー&工場見学

ペーパーサミット実行委員として活躍するメンバーへのインタビュー第2回目は、ペーパーサミット2025実行委員会から参加されている、太成二葉産業株式会社の小峰教史さんです。

実行委員・小峰さんについて

太成二葉産業株式会社は、1949年創業の印刷会社。表面加工技術を強みに、パッケージやカタログ表紙など、厚紙の印刷・加工を手がけています。小峰さんは2021年にWEBディレクターとして入社。和歌山県の高専で機械工学を学んだ後、アートへの関心から東京の専門学校でビジュアルデザインを学ばれました。WEB制作会社やECサイト運営会社を経て、24歳でベトナム支社立ち上げのマネジメントに携わりますが、デザインの仕事から離れたことに違和感を覚え退職。その後はデザイナーとして独立するなど、ベトナムで約10年間活動されました。コロナ禍をきっかけに帰国を決意し、太成二葉産業の内定を機に大阪へ移住され、現在に至ります。



ペーパーサミットとの出会い

広報販促を担当していた頃、MEBICへの参加を通じて「ペーパーサミット」を知った小峰さん。大阪府印刷工業組合に連絡し、オブザーバーとして会議に参加しました。「ペーパーサミット2024」では出店者として参加し、社内メンバーとノートなどの商品を制作・販売。初めてのBtoC経験を通してその可能性を実感し、社内にも良い影響をもたらしたといいます。2024年6月からは、「ペーパーサミット2025」の実行委員として本格的に関わるようになりました。



実行委員としての活動と魅力

小峰さんは広報チームのリーダーとして、WebやSNS、印刷物の制作管理、プレスリリース発行、広告制作・効果測定など幅広く担当。1年目は本業との両立に苦労する場面もありましたが、2年目となる今期は体制を整え、無理のない形で活動されています。実行委員活動を通じて、他社印刷会社の熱量や姿勢に刺激を受け、その気づきを社内にも共有することで、コミュニケーションや意識の変化にもつながっているそうです。また、クリエイターと深く関われる点も大きな魅力だと語ってくださいました。ペーパーサミット2026に向けては、「これまでの良さを大切にしつつ、進化している姿も伝えていきたい」との意気込みと、「ペーパーサミットの魅力は“関わったらわかる”。参加するだけでも熱量に触れ、前向きな力をもらえるイベントです」と、力強いメッセージをいただきました。

太成二葉産業株式会社
<https://www.tims-net.co.jp/>

インタビュー全文は
ホームページで公開中です



印刷会社 工場見学レポート

クリエイター向けの工場見学。今回は11月15日に開催された株式会社あいぼっくすの見学会の様子をご紹介します。

株式会社あいぼっくすは、印刷、製本、シール印刷をはじめ、アクリル印刷など企画・デザイン・製版・CTP・印刷までをトータルでサポートする企業です。

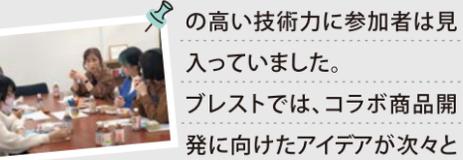
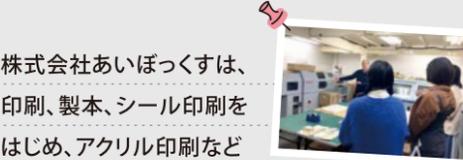
大阪市東成区にある工場には、さまざまな機械が並び、社員の皆さんが気兼ねなく意見を言い合えるアットホームな雰囲気が印象的。工場見学では一つひとつ丁寧に説明していただき、そ

の高い技術力に参加者は見入っていました。

ブレストでは、コラボ商品開発に向けたアイデアが次々と

飛び交い、ワークショップも体験させていただき

あいぼっくすさん、ありがとうございました。



株式会社あいぼっくす
<https://ibox-data.com/>

Next Stage ~人が育つ、組織が変わる!~

【教育研修委員会 委員座談会】 PRI・O連載を振り返って



大阪府印刷工業組合 教育研修委員会では、この2年間、「学び」と「刺激」をキーワードに、組合員同士が互いに成長し合える場づくりに取り組んできました。そのひとつが、広報誌での連載企画や企業訪問を通じた情報発信です。

初年度は、「仕事力向上の本棚」と題して、委員一人ひとりが影響を受けた書籍を紹介する企画を実施しました。経営や歴史、小説、自己啓発などジャンルはさまざまでしたが、委員それぞれの価値観や考え方が垣間見え、「こんな視点があったのか」「自分も読んでみたい」と多くの刺激を受ける機会となりました。忙しい日常の中でも、移動時間や朝のわずかな時間を使って学び続ける姿勢に、委員同士が良い影響を

受け合ったことも印象的です。

2年目には、「NEXT STAGE ~人が育つ、組織が変わる~」と題して、実際に組合員企業を訪問し、現場の取り組みを取材・発信する企画へと発展しました。コラボイベントや体験型企画、新事業挑戦の過程など、印刷業の枠にとらわれない多様な取り組みを知ることで、「まだまだできることがある」「自社にも活かせるヒントがある」と、多くの学びが生まれました。実際に現場へ足を運び、直接話を聞くからこそ得られる気づきの価値を、委員全員が実感した時間でもありました。

これらの活動を通して感じたのは、学びは一方向的に与えられるものではなく、共有し合うことで何倍にも広がるといことです。

誰かの挑戦が、別の誰かの新たな一歩につながる。そんな好循環を生み出す場こそが、教育研修委員会の役割であるとあらためて認識しました。

今後も当委員会では、セミナー開催や情報発信、企業訪問などを通じて、組合員の皆さまにとって「気づき」と「刺激」を提供し続けていきたいと考えています。変化の激しい時代だからこそ、学び合い、挑戦し続ける姿勢が業界全体の成長につながるはず。

この2年間のPRI・Oへの連載活動で得た経験とつながりを礎に、教育研修委員会はこれからも、組合員の未来を切り拓く学びの場を創出してまいります。ぜひ今後の取り組みにもご期待ください。

報告/(株)デザインコラボレーション 吉田匡廣

ボランティアスタッフ 紙 福袋商品 大募集!



ペーパーサミットでは、イベント当日のボランティアスタッフ、人気企画「紙詰め放題」の紙や福袋に入れるオリジナル商品・ノベルティを提供いただける企業を募集しています!

ご協力いただける方は、お気軽にお問い合わせください

papersummit.osaka@gmail.com



開催場所 OMMビル
大阪府大阪市中央区大手前1-7-31

WEB <https://paper-summit.com>

連絡先 ペーパーサミット2026実行委員会
papersummit.osaka@gmail.com

開催日
2026年
5/30(土)

「PRINT LOVERS OSAKA 2025」を 通して明らかになった大阪の底力



みなさん、こんにちは。昨年10月のあのビッグイベントから、あっという間に季節は巡り、春を迎えようとしています。今となっては少し遠い夢のようにも感じられますが、B5サイズの作品集が無事に皆さまのお手元に届き、「こんなことを組合でやったのか……」と、あらためてさまざまな思いを巡らせていただいている頃ではないでしょうか。

本企画には、制作の中心に深く関わられた方もいれば、今回は一歩引いて見守ってくださった方も。そこで本稿では、「大印工組設立70周年記念イベント」という枠を超え、このイベントを通して得られた学びを、「プリンティングディレクション」という視点から振り返ってみたいと思います。

今回の大きな特徴のひとつが、70作品すべてに異なる紙を使用したことです。普段はなかなか使う機会のない用紙への挑戦、そして多くの製紙メーカーの皆さまからのご協賛により、「さまざまな用紙を知る」貴重な機

会となりました。用紙と印刷技術、アートやデザインの組み合わせ次第で、作品の印象は大きく変わり、その可能性は無限に広がります。また、作品サイズもできる限りバラエティを持たせることで、それぞれの現場の個性を活かす工夫を行いました。

さらに、特色や多色刷りへの積極的なトライも印象的でした。通常はレギュラー4色が中心の現場で特色の可能性を引き出したリ、特色を得意とする現場では、普段あまり使わない色のインキに挑戦したりと、これまでない方法にも数多く取り組んでいただきました。同版で2回、3回、ときには5回刷りという試みも生まれ、その過程で製版(分版)データ作成の重要性をあらためて認識する機会にもなりました。

また、断裁・刷版・印刷・加工といった分業で成り立つことの多い大阪の印刷業の特性から、新たな横の連携も生まれました。グラフィア、表面加工、活版や箔押し、トムソンなど、

普段は取り引きのない組合員同士が関わる場面も多く、実仕事にも活かせる新しいつながりや相互理解が育まれました。

そして、今回の一番の学びは、印刷技術だけで成り立つものではない、という点です。70名のアーティストそれぞれのイメージやコンセプトがあってこそ、今回のプリンティングディレクションは成立しました。まさに「アート×印刷」のコラボレーションでした。

70作品を同時に発表・制作できたことは、印刷の可能性と実力を広く伝える大きな成果でした。それを大阪府印刷工業組合という組織で実現できたことは、日本全国、そして世界に誇るべき取り組みではないでしょうか。今後は作品ごとに取り上げ、解説していく予定です。ご期待ください！

報告/アサヒ精版株式会社(ASAHI SEIHAN Co., Ltd.)
代表取締役 築山万里子(印刷&制作統括ディレクター)

大印工組 設立70周年記念事業 PRINT LOVERS OSAKA 2025

アーティストから寄せられた声(抜粋)

参加して特に印象に残ったこと

多くのアーティストからまず挙げられたのは、製本・展示・什器に至るまでのクオリティの高さでした。印刷業界ならではのプレゼンテーションや、しっかりとしたコンセプト設計、会場全体の美しさに対して、「非常にプロフェッショナル」「よく組織されている」という声が多く寄せられています。

また、さまざまな印刷会社に関わることで、大阪の印刷技術の多様さと奥行きを実感したという意見も印象的でした。

「デジタルデータが想像を超えるプリント作品になった」

「印刷所の技術力に驚いた」

「自分一人では辿り着けない表現に出会えた」など、印刷との協働によって作品の可能性が大きく広がったことが伝わってきます。

海外の参加アーティストからは、**「日本の印刷会社や来場者と直接つながれたことが非常に大きな意味を持った」**、**「短期間の展示にもかかわらず、規模とキュレーションの丁寧さに心から感銘を受けた」**といった声も届きました。



会場・展示について

会場では、**「印刷がぐっと身近に感じられた」という声が多く聞かれました。**

冊子制作の体験コーナーやポスター展示のアイデア、丁寧な印刷技法の解説など、一般来場者にも伝わる展示構成が高く評価されています。

一方で、**「活版機や刷版など、印刷の知識がゼロベースでも知ることでできる説明があるとさらによかった」**、**「作家のコンセプト説明がもう少し添えられていたら、理解が深まったかもしれない」と**いった今後への建設的な提案も寄せられました。

印刷技術への気づきと新しい可能性

多くの意見に共通していたのが、印刷が五感に訴える表現であることの再発見です。紙の質感、インキのノリ、触れたときの感触——デジタル化が進むなかで、現物だからこそ伝わる**「物質としての力を強く感じた」**という声が目立ちました。

「紙の選択が作品の価値を大きく左右することを知った」、

「特殊紙とインキの組み合わせで、平面がプロダクトのような存在感を持つ」、

「印刷は現代の版画技法だと再認識した」といった言葉からは、印刷を単なる“複製手段”ではなく、表現技法そのものとして捉え直す視点を感じられます。

今後、挑戦してみたいこと

今後については、**「誰もやったことのない印刷表現に挑戦したい」**、

「またこのようなコラボレーションに参加したい」、

「作品販売やアートブックフェアとの連動もおもしろそう」など、前向きで具体的な声が多く寄せられました。

アート×印刷の未来へ

アーティストと印刷会社がより対等な立場で協働できる環境、その成果を発信・販売できる場の必要性を感じたという声も多くあります。

「単なる原画の複製ではなく、印刷だから生まれる別の価値」、

「ヤレや不完全さすら、表現として成立する可能性」、

「手仕事としての印刷、そのプロセスに宿る価値」、

PRINT LOVERS OSAKA 2025は、そんな未来への手応えを感じさせる場だった、という言葉が印象的でした。

その他・今後への期待

- ◆世界各国で開催してほしい
 - ◆プリンティングディレクターに焦点を当てた企画を見てみたい
 - ◆さらに多様なジャンル・素材のアーティストとの展開に期待
 - ◆印刷の未来を垣間見る、ワクワクする体験だった
- など、多くの感謝と期待の声が寄せられています。

(2025年11月アンケート結果より)

PODメーカーと考える

印刷会社の経営課題解決セミナー



印刷業界のDX最前線：生き残りの鍵は「脱・印刷」と「付加価値」

原材料費の高騰や人材不足など、多くの課題に直面する印刷業界。この変革期を乗り越えようといわれたセミナーに主要PODメーカー4社が集結し、デジタル技術を活用した未来戦略を語った。各社が共通して訴えたのは、単なる機械の導入ではなく、顧客の課題を解決するソリューションパートナーへの進化だった。

岐路に立つ印刷業界、活路はデジタルにあり

1991年をピークに市場規模が半減した日本の印刷業界は、事業所の淘汰が進み、一部の企業に仕事が集中する二極化が深刻化している。さらに、熟練技術者の高齢化と後継者不足は、多くの地域企業にとって喫緊の課題だ。

こうした状況を打開する鍵として、各メー

カーが口を揃えるのが、版を必要としないデジタル印刷(POD:プリントオンデマンド)の活用だ。小ロット・多品種・短納期という現代のニーズに柔軟に対応できるだけでなく、準備工程を大幅に削減できるため、生産性向上と省人化に直結する。

価値創造への二つのアプローチ：「守りのDX」と「攻めのDX」

デジタル化で利益を生み出す方向性は大きく二つある。ひとつは、「工程ログシステム」のように、RPA(ロボットによる業務自動化)などを活用して生産工程を効率化し、コストを削減する「守りのDX」。もうひとつは、新たな価値を創造する「攻めのDX」だ。

後者の代表例が、付加価値の高い特殊印刷だ。箔やニスを使った加飾印刷や、多様な用紙への対応は、他社との差別化を図る強力な武器となる。印刷を単なる工程と捉えず、その前後の企画やマーケティングまで

事業領域を広げることが重要である。

「印刷だけにとどまらず、その上流や下流に事業を広げるか、あるいは特定の分野で専門性を深めるか。自社の強みを活かした戦略が不可欠」。

顧客と共に創る未来

セミナーで示されたのは、もはや「機械の性能だけで仕事が取れる時代ではない」という共通認識だ。各社は、顧客の課題に寄り添い、共に解決策を模索するパートナーとしての役割を重視している。

デジタル化の波は、地域の印刷会社にとって大きな挑戦であると同時に、新たな価値を創造する好機でもある。単に「刷る」ビジネスから脱却し、顧客のビジネスに貢献するソリューション企業へと進化できるか。変革への強い意志と決断力が、今まさに問われている。

報告/大通機械販売(株)代表取締役 石角彰

デザインの力が未来を拓く



株式会社アゾン 代表取締役 西川雅夫

昨年8月に大阪府印刷工業組合 東和支部に入会いたしました、株式会社アゾンです。弊社は1986年の設立から、今年で創立40周年という節目を迎えました。「デザインの力で新たな価値を創造し、暮らしを彩る」をミッションに、文具開発で培った実績とマーケティング視点を武器に、印刷・デザインの枠を超えた「課題解決型企業」として歩んでおります。

■企画から販促までをつなぐ「一貫創造」の強み

自社ブランド「AZONX(アゾン)」で培ったノウハウを活かし、単なる制作物の提供に留まらないプロデュース体制を構築しています。

- 戦略的なクリエイティブ: 市場調査に基づき「誰に、何を、どう届けるか」をデザインします。
- 幅広い対応領域: グラフィック制作から、ロゴなどのブランディング、パッケージ、ディスプレイ制作まで。
- プロフェッショナルな信頼感: 制作の入り口から、販売促進という出口までを1本の線でつなぎ、商品が市場でスムーズに循環し続けるための仕組みを構築します。

■アスクル正規取扱販売店として、オフィスの基盤を支える

クリエイティブだけでなく、事務用品の供給という側面からも企業活動を支援しています。文具メーカーをルーツに持つ弊社だからこそ、現場のニーズを的確に捉えた提案が可能です。生産性向上やコスト削減といった、オフィスの身近な課題を解決するパートナーとしての役割を担っています。

■万博で示した「伝統」と「未来」の表現力

2025年の「大阪・関西万博」では、グループ会社のセキセイ株式会社が「リボンチャレンジ」に出展。弊社はその展示パネルのデザインを一手に引き受けました。伝統工芸の「輪島塗」と環境配慮型の「ヤシの実インク」という、「伝統と未来の融合」をテーマに、深い漆黒や蒔絵の質感を視覚的に再現。単なる製品紹介ではなく、「書くことが幸福につながる」という物語を制作しました。情報を整理し、価値を最大化して伝える弊社の編集力は、海外のお客様にも高く評価されました。



■大阪から、豊かな生活と産業の活性化に貢献する

名刺1枚から大規模なプロモーションまで、弊社のすべての仕事には「文具で培ったノウハウを、豊かな生活にアウトプットしたい」という想いが込められています。このたびの組合加入を機に、地

幸福長寿
Well-being and Longevity
書くという行為が、幸福や長寿につながります。
書くという行為は、心身の健康に様々な良い影響をもたらします。記憶の整理、ストレス軽減、自己理解の深化、記憶力向上、脳の活性化など、多くの効果が科学的に実証されています。
Writing activities improve well-being and result in longevity.
Writing activities have positive impacts on our well-being. Organizing emotions, reducing stress, deepening self-understanding, improving memory power, activating the brain, etc. Various effects have been scientifically proven.Let's save the earth!

命輝くデザイン
Designing Our Lives
地球を救おう!

植物性バイオマスを使用した未来のインク
Future ink using plant biomass

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
ヤシの実インク×伝統工芸品の活用でSDGsの目標達成に貢献します。
The use of sustainable Coconut Ink and traditional craft contributes to achieve SDGs.

世界初
First in the world
ヤシの実インク
植物性バイオマス原料を使用することで石油系顔料の環境汚染を削減。ノンVOCのヤシの実インクを製品化。
Coconut Ink (Uses plant biomass materials to reduce the use of petroleum-derived materials. Using VOC free Coconut Ink.)

サステナブルインク
Palm-Yashiの実オイルを採用したヤシの実インク
Sustainable Ink
We made with coconut oil-based materials. Coconut Ink

伝統工芸品 輪島塗
伝統工芸品の持つ「美を大切に する精神」や「天然素材の使用」、「手作業による生産」は、サステナブルな社会の実現に貢献します。
漆や木目の文様等は自然素材を厳選し、省資源で作られるので環境負荷を減らすこともつながります。
Japanese traditional craft Wajima-nuri lacquerware
The spirit of mindful consumption, the use of natural materials, and production by hand in traditional crafts contribute to the realization of a sustainable society. Natural materials such as lacquer and wood reduce environmental impact and are produced with fewer resources, which also leads to a reduced CO2 footprint.

域業界の皆様との連携をさらに深め、デザインとサービスの力で大阪の産業活性化に貢献してまいります。企業のブランディングから日々のオフィス運営まで、お困りごとがございましたらお気軽にご相談ください。

■企業データ
社名: 株式会社アゾン
本社: 〒545-0053
大阪市阿倍野区松崎町2-6-43
アゾンビル402
Tel.06-6624-2050
Fax.06-6621-1371
設立: 1986年2月1日
代表者: 代表取締役 西川雅夫
Web: <https://azonx.co.jp/>
大阪デザインセンター会員

1年を締めくくる 笑顔の12月定例会



2025年12月2日(火)、大阪青年印刷人協議会(大青協)の12月度定例会が、焼肉・しゃぶしゃぶ「たちばな」にて開催されました。今回は忘年会を兼ねた開催となり、1年の活動を振り返りながら仲間同士で交流を深める、温かい雰囲気のと会となりました。

冒頭、谷口議長より「1年の締めくくりとして楽しませよう」と挨拶があり、和やかなムードで定例会がスタートしました。



続いて、黒木副議長より2026年1月開催予定の「キックオフコンベンション」の進捗報告が行われました。年内の声かけ強化により参加者を増やしていく方針が共有されました。新年のスタートを盛り上げるため、大青協としても全体で

参加促進を図っていく姿勢が示されました。

次に依藤副議長より、来春に予定されている交流イベントの紹介があり、舞台は淡路島に決定。パーベキューや温泉を楽しみながらリラックスした雰囲気での交流を深める企画として案内されました。自然の中で語り合う時間は、日頃の仕事では見えない一面を知る貴重な機会となり、参加への関心が高まっていました。

定例会は19時に終了。乾杯の音頭は渡辺副理事長が務め、1年の労をねぎらう言葉とともに懇親会がスタートしました。席では、今年行われた各イベントの振り返りや、来年に向けた抱負、業界の動きなどが次々と話題にのぼり、笑顔と活気に満ちた時間が流れました。仲間同士が支え合い、刺激し合いながら歩んできた1年を象徴するような、温かい交流が随所で見られました。

今回の定例会は、2025年を締めくくるにふさわしい、仲間とのつながりを再確認する場となりました。次回は2026年1月6日(火)、新年最初の定例会が大阪印刷会館で開催されます。

報告 / (株)美販 尾寅玄樹

キックオフコンベンション2026開催!

自分を高め、チームで結果を生み、次世代へ



2026年1月20日(火)、心斎橋BAGUSにて大阪青年印刷人協議会「キックオフコンベンション」が開催され、元陸上競技日本代表の朝原宣治氏による講演会が行われた。世界の第一線で戦ってきたトップアスリートの経験から語られる言葉は、競技の枠を超え、印刷業に携わる私たちに多くの示唆を与える内容であった。

講演前半では「自分を高める方法」として、自分を知ること、ゴールイメージを持つこと、主体的に行動すること、環境を変えること、他者を頼ることの重要性が語られた。これらは一般的な自己啓発の要素とも言えるが、朝原氏の言葉には自己分析を重ね、行動を積み重ねてきた実体験に基づく説得力があった。感覚に頼るだけでなく再現性を意識し、思考の柔軟性と行動力を持ち続ける姿勢は、変化の激しい印刷業界においても重要な視点である。

後半では、良いチームワークを生み出すための

考え方が示された。なかでも強調されていたのが「レベル(ビジョン)を合わせること」である。同じ目標を掲げていても、目指す到達点の解像度が揃っていないと、高いレベルのチームワークは生まれない。お互いに関心を持ち、フィードバックし合い、無理なく継続できる仕組みを整えることで、組織の力は高まっていく。また、結果には運も影響するが、その運を引き寄せるためには挑戦の回数を増やし続けることが必要であると語られた。

自分を高めていない場所に良いチームワークは生まれない。人手不足や新人育成、チームワーク不足といった課題を抱える印刷業界においてこそ、同じ目的に向かって真剣に取り組む仲間が集う環境づくりが求められている。本講演は、最高の結果を引き寄せるための「準備・チャレンジ・継続・ビジョン」の重要性をあらためて考える機会となった。

報告 / S-PLUS 横山達也

さて、日本の祝日の中で、日が確定していない祝日(ハッピーマンデーを除く)は「春分の日」と「秋分の日」です。この二つは国立天文台が作成する「暦象年表」に基づき、閣議決定後、2月1日の官報に発表されるため、毎年動きがあり、基本的には昼と夜がほぼ同じ長さとなる日を前年に決定します。祝日の意味を定めた祝日法では、「自然を称え、将来のために努力する日」とされています。

古来、人々は「春分」を春の訪れを祝う日としていました。それと同時にこれから本格的にはじまる農耕の豊穡を願い、祖先に感謝するお祭り「春季皇霊祭」は宮中祭祀として今も斎行され、そこから「春分の日」と改称されたとも言われています。この「春分」と「秋分」の前後3日ずつの計7日のことを「お彼岸」といい、「春分の日」「秋分の日」はお彼岸の中(ちゅうにち)と呼ばれます。この頃、墓参りなどをする風習がありますが、これは日本人の太陽信仰と仏教の考え方が結びついたと考えられます。太陽信仰では太陽に感謝し、豊作を願うことを「日願(ひがん)」といい、一方仏教では「彼岸(ひがん)」は向こう岸という意味からあの世のことを示します。昼と夜の長さが同じになる「春分」と「秋分」は、現世とあの世がもつともつながりやすい日と考え、先祖供養をするようになりました。「ひがん」という音が同じこともあり、「日願」と「彼岸」が融合し、現在の「お彼岸」となったとのこと。地域によっても異なりますが、私たちの身近なところでは、四天王寺の西門石鳥居(鎌倉時代建立)は極楽の東門と言われ、彼岸の日にはちょうど鳥居の真ん中に日が沈み、その夕陽に「日願」し手を合わす方が多く訪れ、今に至る風習となっています。ここで、甘味歳時記をひとつ。この



春分の頃、私は「こしあんのぼたもち」を頂きます。ぼたもちとおはぎは同じでは?と思われませんが、材料は同じ小豆ともち米です。春はこの季節の花である牡丹に見立てた「ぼたもち」、秋は萩の花から「おはぎ」と呼ばれます。あんこも材料の小豆が越年している春は皮が硬いのでこしあんに、収穫から日が経っていない秋は粒あんを頂くというわけ、なので、春は「こしあんのぼたもち」なのです。季節に合わせて呼び名が変わるのも日本人の粋な感性ですね。さて、どれがお好きですか。私はどちらも大好きです。

ぼたもち? おはぎ?

第一株式会社 代表取締役
笥 順子 Kakehi Nobuko



3月の色

菜の花の色 なのはないろ

花だけでなく葉も含めた、菜の花畑全体を思い出させるような、緑色を帯びた黄色です。荏胡麻(えごま)に変わって灯油に菜種油が使われるようになった戦国時代から江戸時代、菜の花畑は日本人の暮らしに身近な風景でした。

presented by 暦生活 KOKORO SEIKATSU

Adviser's Room

顧問の部屋 労務 税務 法律

大印工組の顧問の先生方から有益情報をお届けします。



弁護士法人
なにわ共同法律事務所
宮崎 信二郎

●ご相談は...TEL 06-6363-2191 FAX 06-6363-1468
大阪市北区西天満2丁目3番15号 千都ビル2階

印刷業界にまつわる
生成AIと法

商標に関する生成AIの活用と留意点

前回からお届けしている「印刷業界にまつわる生成AIと法」の第2弾として「商標に関する生成AIの活用と留意点」についてご説明させていただきます。

印刷業界において、生成AIを活用したデザインやロゴ、キャッチコピーの制作が急速に普及しているといわれています。これらのうち、商品やサービスに使う文字や図形、記号等は商標に該当し(商標法第2条)、特許庁長官に出願し商標登録を受けることで保護されます。

商標法は「商標を使用する者の業務上の信用の維持」と「需要者の利益の保護」を目的としており(同法第1条)、商標の創作主体が人間であることを要件としていません。そのため、生成AIが作成したデザインやロゴ、キャッチコピーも商標法上の「商標」に該当し、出願・登録の対象となります。特許庁も、令和7年6月13日、商標が自然人により創作されたものか、生成AIにより生成されたものかにかかわらず、従来の商標登録出願と同様、商標法第3条および第4条等に規定された拒絶理由に該当しない限り商標登録を受けることができると判断しました(「商標制度に関する検討課題について」特許庁産業構造審議会知的財産分科会第12回商標制度小委員会)。

生成AIのさらなる普及により登録商標の数が増加し、他人の商標権を侵害するリスクが今まで以上に高まると思います。そのため、自ら作成したか、生成AIで作成したかにかかわらず、デザインやロゴ、キャッチコピーを商品や広告に利用する場合、既存

の登録商標と同一または類似していないかを調査すべきです。調査手段として、独立行政法人工業所有権情報・研修館が運営する「特許情報プラットフォーム」PlatPatの無料検索・照会データベースを活用されることをお勧めします。

また、著作権侵害の予防策と同様、生成AIを利用する際、プロンプトに既存の商標や商品名、著名なブランド名を入力しないことが推奨されます。万が一、既存の登録商標と類似するおそれのある生成物が出力された場合には、そのまま利用せず、必要に応じて大幅な修正を加えるべきです。

また、上記調査・修正等の手間暇をかけて作成したデザインやロゴ、キャッチコピー等を守るため、商標登録出願を積極的に行うことが必要な時代になってきたと感じます。

実際に担当した事件で、依頼者の店名「A」が相手方の登録商標「a」と類似しているとの理由で「A」の使用を中止するよう請求を受けたところ、そのとき既に相手方は先回りし依頼者の店名「A」と全く同一の商標「A」の登録出願をしており、結果として相手方が「A」の商標登録を受けたため、依頼者は店名の変更を余儀なくされたことがありました。

今後さらに進歩する生成AIに対抗する意味でも、自ら作成し愛着ある大切なデザインやロゴ、キャッチコピーを将来にわたり商品やサービスに使用し続けるためには、一度、商標登録出願を検討された方が良いと思います。

Partnership Member's

大印工組パートナーシップ会員の企業をご紹介します

誠伸商事株式会社

Seishin Shoji Co., Ltd.

Company Information

誠伸商事株式会社
〒145-0062 東京都大田区北千束2-9-10
03-5751-3011 <http://seishin.co.jp/>



Precision High Speed Sheeter CHM-1400 / CHM-1700 / CHM-1900



印刷業界を支える総合ソリューション企業

弊社は、印刷産業向けの専門商社として、東京都大田区を本社に全国展開している企業です。主に各メーカーの印刷機やCTP関連機器、製本機器、CTPプレートなどを販売しています。また、自社商品として以下のラインナップがございます。

<印刷管太郎>

印刷会社様向けの基幹システムとして、見積もり作成から受注・工程管理・売上・請求・仕入・支払までの主要業務を一元管理、可視化します。操作性の分かりやすさやスケジュール管理、原価・利益の自動算出により社内の情報共有を促進し、業務改善や迅速な経営判断を支援します。全国約700社の導入実績を持ち、企業規模や運用に応じてパッケージ版、ASP版を選択できます。

<D-pos>

出荷・倉庫・原紙・残紙管理業務をデジタル化、最適化する業務支援ツールです。ハンディターミナルによるバーコード読み取りで入庫や在庫管理を正確に行い、ミス防

止と作業負担の軽減を実現します。CSV出力によりExcelや基幹システムとの連携も可能で、弊社基幹システム「印刷管太郎」との連携により用紙管理や後工程の効率化を強化します。現場課題の抽出から改善提案まで行うDX支援により、業務効率と精度向上に貢献します。

<RFIDソリューション>

新規事業として他業界、他業種向けにRFIDソリューションを提供しています。RFIDは電波を用いて無線で情報を読み取り、モノの識別・管理・追跡を行う技術で、物流・小売・製造・アパレルなど幅広い分野で活用されています。タグとリーダーを用いることで、多数の物品を瞬時に読み取り、「何がどこにどれだけ」あるかをリアルタイムに可視化し、高精度な在庫・位置管理を実現します。

<シートカッター>

輪転機用巻取り用紙を高精度、高速に枚葉機用板紙に断裁するオフラインシート

カッター装置です。以下の導入メリットがあります。

- ✓300枚/分の高速断裁。
- ✓ロール紙で購入することにより、枚葉紙での購入価格より安価に購入ができます。
- ✓ボード紙・オフセット紙・アート紙・クラフト紙など、さまざまな用紙に対応ができます。
- ✓印刷絵柄に合わせたカットにより、余白削減による用紙サイズを最適化できます。
- ✓用紙カールの自動補正、静電気除去装置を標準装備。
- ✓ワンプの開梱作業や用紙の積み替え時間を大幅削減できます。

弊社は、価格や利便性だけでなく、お客様に本当に役立つ商品、サービスを提供し、誠実な対応を通じて信頼関係を築くことを大切にしています。また、変化に柔軟に対応し、デジタル化や価値観の変化を学び続けながら、新しい挑戦を恐れない商社を常に目指しています。

誠伸商事株式会社 中国浩剛

FUJIFILM
Value from Innovation



Revoria™ (レヴォリア) は
富士フイルムビジネスイノベーションによる
プロダクション・プリンティング・ソリューションの
ブランドです。

わたしたち富士フイルムビジネスイノベーションは、
皆様と共にプリントビジネスの可能性を広げ、
富士フイルムグループの一員として
真に価値ある製品やサービスの創出に貢献します。

富士フイルム ビジネス イノベーション株式会社 <http://fujifilm.com/fb>
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3 TEL:03-6271-5111 (代表)

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。
Revoria、Revoria Logo、Revoria Press、Revoria Flow、および Revoria One は富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

大印工組のSNS インサツグラムで 会社のPR情報を発信しませんか？

大阪府印刷工業組合の公式インスタグラム、「インサツグラム」に
組合員企業のPRが無料で投稿できるようになりました。
ご一報いただければ事務局よりフォーマットをお送りします。

※データ製作を依頼される場合は別途有償となります。
※記載内容によっては投稿をお断りする場合があります。

問い合わせ 大印工組事務局 Tel.06-6353-3035

ぜひアクセスください



木とともに未来を拓く

木とともに未来を拓く総合バイオマス企業として、
これまでにない新たな価値を創造し続け、真に豊かな暮らしと
文化の発展に貢献します。

日本製紙株式会社
東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ 〒101-0062 TEL.03-6665-1111
www.nipponpapergroup.com





事業報告[本部]

大青協定例会 1/6(火) 18:30~	経営革新委員会 1/13(火) 18:00~	教育研修委員会 1/15(木) 18:00~
広報・サステナビリティ拡大委員会 1/7(水) 18:00~	近畿印刷工業会・関西フォーム印刷工業会合同新年会 1/13(火) 18:00~	地域共生委員会 1/19(月) 18:30~
新春会員交流大会 1/8(木) 17:00~	Food Style Japan関西2026説明会 1/15(木) 17:00~	大青協 Kick Off Convention 2026 1/20(火) 16:00~
総務特別委員会 1/13(火) 18:00~	協創特別委員会 1/15(木) 18:00~	パートナーシップ特別委員会 1/22(木) 18:00~

事業報告[支部]

東和支部 生國魂神社初参り 1/4(日) 13:00~	東支部 新年会 1/16(金) 19:00~	北支部 新年会 1/30(金) 18:30~
天親支部 新年互礼会 1/9(金) 18:00~	南親支部 南親会新年会 1/17(土) 10:30~	東大阪支部 新年会 1/31(土) 18:00~
天親支部 生成AIセミナー 1/13(火) 15:00~	摂陽支部 新年会 1/17(土) 18:00~	
福島支部 新年互礼会 1/16(金) 18:00~	東和支部 新年互礼会 1/23(金) 18:30~	

事業予定[本部]

大阪印刷関連団体協議会独自セミナー 3/2(月) 17:00~	経営革新委員会 3/9(月) 17:00~	組織活性化委員会 3/12(木) 18:00~
大青協定例会 3/3(火) 18:30~	協創特別委員会 3/9(月) 18:00~	地域共生委員会 3/17(火) 18:30~
パートナーシップ特別委員会AI実践講座② 3/5(木) 15:50~	総務特別委員会 3/10(火) 18:00~	理事会 3/25(水) 16:00~
広報・サステナビリティ拡大委員会 3/5(木) 18:00~	教育研修委員会 3/12(木) 18:00~	

事業予定[支部]

天親支部 生成AIセミナー 3/3(火) 15:00~	天親支部 班長会 3/18(水) 11:00~	東和支部 役員会 3/24(火) 18:00~
東和支部 ファミリーイベント バスケットボール「大阪エベッサ」観戦 3/15(日) 11:00~	天親支部 生成AIセミナー 3/24(火) 15:00~	南親支部 ゴルフコンパ 3/28(土)

※記載の事業予定については、変更もしくは中止になる場合があります。※時間等の記載のないものは未定です。

インフォメーション

[新入会員] ㈱アマシ大阪営業所(東和支部)西口元晴氏
〒583-0844 羽曳野市壺井590-1 丸進運輸㈱内
TEL:080-5301-7331

[訃報] 中原美代子氏(東和支部)中原産業㈱(前代表者)
1月10日死去 92歳

[代表者変更] ㈱フジプラス(北支部)新社長に上原拓氏が就任
コクヨKハート㈱(天親支部)新社長に前田智行氏が就任
大亨印刷㈱(南親支部)新社長に河合威征氏が就任
シグマ紙業㈱(福島支部)新社長に嶋田吉孝氏が就任

天親支部 新年会のご報告!大阪城を背景に和やかに開催 1/9(金) 18:00~

[報告/和光製版株式会社 西岡美雪]

2026年1月9日(金)、商売の神様「えべっさん」の宵宮というおめでたい日に天親支部の新年会が大阪城を一望できる素晴らしいホテルで開催されました。この特別な日のために集まった組合員たちは、新年を迎えるにあたり、和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。

会場に到着すると、目の前には壮麗な大阪城が広がり、その美しい景観は参加者たちの心をいっそう高揚させました。新年の祝いにふさわしく、ホテルのスタッフによるおもてなしも非常に素晴らしく、料理やドリンクはどれも絶品で、お腹も心も満たされた一時が過ぎていきました。

会は支部長の挨拶でスタートし、2025年の活動を振り返りながら、新たな年への期待も語られました。また、組合員同士の交流を促すための抽選会も行われ、思い出に残る楽しい時間が流れました。

参加者同士は、仕事の話げにとどまらず、



プライベートな話題でも盛り上がり、会場は笑顔と笑い声で満ち溢れました。こうした交流は、支部の絆をさらに強固にし、今後の活動への士気を高める良い機会となりました。

会の締めくくりには全員での乾杯が行われ、さらなる飛躍を願う言葉が交わされました。2026年も天親支部が素晴らしい年となる

ことを期待し、皆で心をひとつにして前進することを誓った瞬間でした。

今回の新年会は、大阪城の美しい景色と共に、組合員たちの思い出に深く刻まれるものとなりました。今後も、支部の団結を大切にし、相互扶助の精神を持ち続けていきたいと思います。今回の集まりが待ち遠しい限りです。

広報誌「PRI・O」印刷委託先 募集!!

このたび広報委員会では、2026年6月より刊行する広報誌「PRI・O(プリオ)」を2年契約(2026年6月~2028年5月)で製作(印刷・製本)担当していただく組合員企業を募集いたします。下記の要領により応募の旨(見積書同送:24P、28P)を期日までに大阪府印刷工業組合 事務局まで郵送にてお送りいただきますようよろしくお願いいたします。

記

【仕様】

- 発行日:毎月1日
- 印刷部数:1,200部まで
- サイズ:A4変形(210×280mm)
- 印刷用紙(表紙、本文共紙):シルバーダイヤS
(不定期に変更となる場合あり)
※ただし、紙支給、半年分在庫ができること/約30連程
- 頁数:基本24P(28P構成になる場合もあり)
- 印刷度数:24P×4/4
- 原稿:データ渡し(※一部写真補正を含む)
- 校正:プリフライトチェックを含む
- 製本:中綴じ
- 印刷期間:データ渡しから⇒約6日間(祝祭日は除く)
- 納品場所:大阪府内発送業者/大阪府印刷工業組合 事務局

(※上記仕様については実際には変更になる可能性があります)

【契約期間】

2026年6月号から2028年5月号まで(2年間)

【募集期間】

2026年4月1日(水)必着

【応募資格】

- GP、CSR、環境推進工場、JPPSのうちどれか1つの認証を持っている、あるいは、次年度中に取得予定の組合員企業であること
- 毎月1回開催される広報委員会に参加すること

【決定方法】

見積り額の最高額と最低額企業を除く企業を対象に、品質チェック(旧データによる校正)を行ったうえで、上記応募資格にある認証等を加味し、広報委員会において選定

【お問い合わせ】

大阪府印刷工業組合 事務局(大喜多まで)
電話(06)6353-3035

思い描く色に correspondence 続けます。

大阪府品質管理推進認定企業

富士精版印刷株式会社

本社 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目4番33号 TEL. 06-6394-1181(代)
 東京支店 〒211-0021 神奈川県川崎市中原区木月住吉町22番3号 TEL. 044-434-3070
 市島工場 〒669-4342 兵庫県丹波市市島町矢代字才上377番1号 TEL. 0795-85-1488

<https://www.fujiseihan.co.jp>

GREEN PRINTING JPPI F-B10290 F-B10291
 FSC www.fsc.org FSC® C002841
 JAPAN COLOR 富士精版印刷株式会社 本社工場

artience

TOYO INK

2024年1月、東洋インキグループは、
 “artience(アーティエンス)”として新たに始動しました。
 人の心を動かす「感性に響く価値」を提供していくことで
 心豊かな未来の実現に挑んでまいります。

東洋インキ株式会社 www.artiencegroup.com
 ※事業会社「東洋インキ株式会社」の商号は変更いたしません。

ストレッチフィルムディスペンサー
XT Orange エックスティアーオレンジ

PPバンド通しツール
 ストラップバンディット

Youtube

OnlineShop

作業環境の改善をお手伝いします。

NEW パワゾール NH50 改正 PRTR法 非該当
 ブランケット&ローラーUVインキ洗浄液
 適度な乾燥性で自動洗浄にも適しています。

お問い合わせは **ウエノ株式会社**

SCREEN

オンライン校正で働き方を変える!

Webポータルシステム
EQUIOS Online

株式会社 SCREEN GP ジャパン 大阪支店/06(6531)0333
 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町2丁目7-5 京阪神新町第1ビル

アプリダウンロード不要!
 ワンステップで
WebAR体験!

サンプル

卒業式・入学式
 ARフォトフレームで
 好きな人と写真をとろう!

株式会社 NPC コーポレーション NPCコーポレーション

著名営業案内 (順不同)			
寿印刷(株) 西淀川区歌島1-4-4 TEL.6471-3434 FAX.6472-9840	青葉印刷(株) 都島区中野町2-10-11 TEL.6351-5428 FAX.6351-5299	田中手帳(株) 住之江区平林南1-2-52 TEL.6681-8648 FAX.6681-0058	富士精版印刷(株) 淀川区西宮原2-4-33 TEL.6394-1181 FAX.6394-1199
(株) ケーエスアイ 西成区南津守7-15-16 TEL.6652-8000 FAX.6652-8894	白石封筒工業(株) 東大阪市高井田中4-1-22 TEL.6789-0018 FAX.6789-0028	キハラ工芸(株) 中央区内淡路町2-1-10 TEL.6943-7955 FAX.6943-7958	ウエノ(株) 淀川区西中島7-4-17 TEL.6301-1555 FAX.6301-1557
(株) 一心社 天王寺区大道1-14-15 TEL.6771-1121 FAX.6772-6970	サン美術印刷(株) 東成区東今里2-15-30 TEL.6976-0231 FAX.6978-2807	(株) 美生社 西成区出城1-7-4 TEL.6647-8555 FAX.6647-3176	レスター工業(株) 中央区糸屋町2-3-2 TEL.6941-8572 FAX.6941-0781
大興印刷(株) 大阪市港区弁天1丁目2番1号 大阪ベイタワーオフィス16階 TEL.6577-2205 FAX.6577-2207 神戸ポートアイランド工場 神戸市中央区港島南町4-6-3 TEL.078-303-3660 FAX.078-303-3669	(株) フリーテック 天王寺区寺田町1-3-8 TEL.6772-3300 FAX.6772-6424	マツモト(株) 中央区上町1-15-36 TEL.6762-9151 FAX.6762-7292	(株) NPCコーポレーション 北区天満1-9-19 TEL.6351-7271 FAX.6352-7479
岩岡印刷(株) 住之江区中加賀屋4-2-10 TEL.6685-5221 FAX.6685-5634	内外インキ製造(株) 福島区海老江8-10-1 TEL.6458-1161 FAX.6458-3808	NIKKO 日広株式会社 八尾市若林町2丁目127番地 TEL:072-948-1151(代)	和光製版(株) 東成区深江北2-10-5 TEL.6972-7770 FAX.6972-7775
大同印刷(株) 鶴見区鶴見4-6-4 TEL.6934-2121 FAX.6934-2128			

heart 人から人へ心を伝えるハート紙製品

- ・封筒・名刺・はがき
- ・カード・賞状・カレンダー
- ・紙製クリアファイル
- ・ワックスプラス
- ・包装資材・パッケージ

持続可能な社会の実現に向けて、再評価されている紙素材。
 事務用紙製品だけでなく、包装資材や商品パッケージなど
 あらゆるものの“紙化”もぜひご相談ください。

ハート株式会社 www.heart-group.co.jp

ISO 14001 FSC ISO 9001
 ハート(株) FSC® C01588 100% 国産紙

DTK 印刷関連機械を売るなら“DAITSU”へ!!

遊休機械を現金にて高価買取致します!
 買取が出来ない機械につきましても、ご希望にあわせて
 処分も可能ですのでお気軽にご相談下さい。

《買取査定 対象機械》
 オフセット印刷機/シール印刷機/フォーム印刷機
 CTP/断裁機/製本機/トムソン機/製袋機 など

大通機械販売株式会社 〒577-0012 大阪府東大阪市長田東2-1-33
 TEL.06-6747-3561 FAX:06-6747-3591 MAIL:e-mail@daitso-m.co.jp

www.daitso-m.co.jp

Print Reuse Recycle
 MACHINE REUSE
 cut fold

各種無料相談

開催場所 大阪印刷会館

予約制 オンライン(Zoom対応)OK

お申し込み・お問い合わせはこちら
大印工組事務局 06-6353-3035
info@osaka-pia.or.jp

■ストレスチェックについて ■残業時間 ■就業規則 など

労務相談 3/27(金)・4/8(水)・4/24(金)
10:00~12:00 / 13:00~16:00
時間 1人 50分 定員 各開催日先着5名
申込締切 開催日の1週間前
顧問 中尾文彦先生

■消費税 ■税金 など

税務相談 3/13(金)・4/10(金)・5/8(金)
13:00~17:00
時間 1人 60分 定員 各開催日先着4名
申込締切 開催日の2日前
顧問 森田昌宏先生

■著作権 ■事業承継・廃業支援 など

法律相談 3/18(水)・4/22(水)・5/27(水)
13:00~17:00
時間 1人 60分 定員 各開催日先着4名
申込締切 開催日の2日前
顧問 宮崎信二郎先生

※状況により開催を中止させていただく場合があります。予めご了承ください。

ライメックス LIMEXシートの取り扱い開始!!

SDGs・減プラに対応

LIMEXシートとは...
石灰石から作られた
耐水性、耐久性に優れた
環境にやさしい新素材

名刺、ポスター、ラベル、タブ、メニュー
地図、POP、クリアファイル
電飾フィルム、横断幕、折箱などに最適

レジ袋、ショッパー、ごみ袋も受注生産
にて対応可能

KAMIX PAPER SOLUTION COMPANY
KAMIX株式会社 (カミックス)
高井田支店：〒577-0066 大阪府東大阪市高井田本通 6-2-10
TEL：06-6785-1036 / FAX：06-6785-1039

たゆまぬ研究と品質管理で
高品質な製品をお届けします

KATSURA
i Roller

高性能UV印刷用インキローラー
アバントUVシリーズ

ゴムローラーのインキ転移性とゴム劣化性を従来品より大幅に
改善することにより、高品質な印刷物が安定して得られます。
また長期間使用できますのでコスト削減も可能です。

株式会社 加賀ローラー製作所
本社 / 大阪市生野区中川5-3-13 TEL(06)6751-1121
URL http://www.katsura-roller.co.jp

機密文書
処理事業

内職事業

4030 SHIOZAWA

株式会社 シオサワ

〒577-0006
東大阪市楠根 3-5-34
TEL：06-6745-4030
FAX：06-6745-4040

企画制作事業

用紙
販売事業

FSC 10530986

RMGT

ともに、世界へ彩りを。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社
西日本支社 〒567-0865 大阪府茨木市横江2-20-43
TEL 072-655-0182 https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/

今月号の用紙

シルバーダイヤS
(塗工紙・104.7g/m² A/Y (57.5)) (表紙・本文とも)

当社A2マットコート紙の関西以西限定銘柄です。伝統技術と長年の経験を継承し、お客様の声を取り入れながら造り上げた、西日本で最も品質に定評のあるマットコート紙です。

用紙提供：日本製紙(株) 関西営業支社 印刷用紙グループ TEL.06-6363-7184

MOTOYA

いろいろなコトはモトヤに!!
ご相談ください!!

皆様と共に歩み続けるモトヤは、「コトウリ」のご提案を続けます。
そして、SDGsのゴールの実現に協力していきます。

3 すべての人に健康と福祉を
8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を
15 陸の豊かさも守ろう

印刷現場の環境改善を考える
ECO no MIST 環境対応資材

ECO no MISTは、お客様と共に「環境」と「価値」を考えるモトヤの資材ブランド。
消耗品による環境改善を実現します。

●モトヤの ECO no MIST (エコノミスト) 商品は、グリーンプリンティング (GP マーク) を認証取得しています。

人に、社会に、ルーファス
LUFAS
内照式ファブリックサイン

印刷業界の人材採用をお考えの企業様
◆社員紹介 ◆紹介予定派遣 ◆人材派遣 ◆業務委託などのご相談は...
モトヤ キャリアエージェント部へ
大阪 ☎(06)6358-9124 / 東京 ☎(03)3523-8719
人材派遣業 派 27-030254 / 人材紹介業 27-ユ 030174

印刷のソリューションプロバイダー
株式会社 モトヤ
大阪 〒530-0038 大阪市北区紅梅町 2-8 ☎(06)6358-9131(代)
東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711(代)
横浜・千葉・名古屋・京都・神戸・姫路・福岡

KONICA MINOLTA

AccurioPress
C14010/C14010S/C12010/C12010S

THE NEW ACCURIOPRESS RANGE
REACH YOUR AMBITION
あなたのビジネスを
新たな次元へ

印刷工程の自動化・省力化を推進する
デジタルカラー印刷システム

ワークフローの最適化
CREATIVITY
創造力を高める
第5のトナー

AUTOMATION
印刷会社の
作業効率を向上

EFFICIENCY
高速かつ高品質な
生産機

PRODUCTIVITY

AccurioPress
C14010シリーズが
提供する価値

多様な視点で
未来をデザインする
RETHINK WHAT'S POSSIBLE

コニカミノルタ ジャパン株式会社 プロフェッショナルプリント事業部
つながるプリントラボ 検索

営業統括部 西日本営業部
プリントソリューション統括部 メジャーアカウント営業推進部

〒550-0005
大阪府大阪市西区西本町2-3-10
西本町インテスビル
URL: http://konicaminolta.jp